

<事業名> 不登校・ひきこもり支援 ドーナツこども食堂

団体名	NPO 法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク
所在地	豊岡市
代表者名	北村 彰 秀

事業内容	<p>1 スタッフや通所している若者がこども食堂を開設 実施日:令和3年4月1日～令和4年2月28日の間 毎月2回(第2・第4木曜日を基本とする)開設時間:11時～13時 12回 *本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令やまん延防止等重点措置の延長に伴い、5月・6月・8月の第2木曜日・9月・1月の第2木曜日・2月は、こども食堂を中止した。 食数:約60食を準備 食事代:幼児・小学生・中学生 居場所・ワークス利用者 100円 高校生以上:300円 会場:豊岡健康福祉センター2階 ドーナツの部屋</p> <p>2 ドーナツランチを提供 実施日:毎月 月～金曜日(こども食堂日を除く) 食数:12～20食を準備 食事代:居場所・ワークス利用者 100円 会場:豊岡健康福祉センター2階 ドーナツの部屋</p> <p>3 講演会・研修会を実施 「ひきこもり支援やこども食堂について理解と協力を得る」 *6月25日香美町民生児童委員研修会(40名)*8月19日豊岡市東地区民生児童委員研修会(32名)*10月5日豊岡市社会福祉協議会職員研修会(24名)*10月20日豊岡市西地区民生児童委員研修会(37名)*11月16日養父市子育て支援協力隊研修会(40名)*11月19日国際ソロプチミスト但馬研修会(21名)*12月23日出石町民生協力委員研修会(45名)*1月13日但東町民生協力委員研修会(35名)*1月18日竹野町民生協力委員研修会(37名)*1月19日香美町小代地区民生協力委員研修会(30名)</p>
地域	豊岡市 (対象区域は但馬全域)
事業の効果	<p>1 団体(組織)内の効果 ・本年度も、昨年に引き続き、コロナ感染拡大防止のためのまん延防止等重点措置の延長に伴い、やむなく食堂を休業することもあった。しかし、毎日のドーナツランチは、換気、手指消毒、マスクの着用、黙食等の徹底を図りながら、居場所やワークスの利用者に提供することができた。時折若者たちも厨房に入り、料理を作ってくれる機会を通して、自信をつけている。一緒に食べることは一緒に歩むこと。悩める若者たちも温かい食卓を通して心が和み、元気を取り戻している。こども食堂も年々多くの来客があり、地域の住民交流の拠点としての役割を持つ。不登校やひきこもりの若者達は、食堂のスタッフとして張り切り、接客にも大分慣れてきた。この体験の積み重ねが働くことの喜びにつながり、次のステップに踏み出せる大きな力となっていることを確信する。</p> <p>2 地域への効果 ・但馬各市町での講演会を実施する中で、不登校・ひきこもりの課題が社会の課題として捉え、今自分たちにできることは、という視点で民生委員をはじめ各関係機関の人たちに伝えることができた。また、こども食堂の活動の意味を知っていただき理解と協力を得ている。 ・兵庫県内のこども食堂がつながり合うことで、情報交流をし、米やパン、野菜等の食材を共有しながら、より良い活動へと充実させていくことができている。 ・阪神間からの視察依頼もあり、ひきこもり支援やこども食堂への関心が年々高まっていることを実感する。</p>

事業経過	<p>こども食堂 開設 10 日前 開設 3 日前 開設 前日 開設 日 第 2 第 4 木曜日</p> <p>ドーナツランチ 月～金、毎日開設 前日 当日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂開設について献立と役割分担・買い物計画(60食分準備) ・開設準備(清掃と食器の点検) 環境整備(季節に合わせた壁面構成) ・食材購入、室内清掃・消毒 テーブル設置等 <p>場所: 食堂 ・ドーナツの会 15名(若者含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理員、スタッフ、若者の検温と体調チェック ・来客の検温と手指消毒、マスク着用、黙食の徹底 ・調理、配膳、椅子テーブルの消毒、配膳、片づけ ・検食の保存、反省会 日誌の記録 <ul style="list-style-type: none"> ・献立を決め、食材購入(20食分準備) 室内清掃・消毒 ・調理スタッフ:2～3名 検温と体調チェック、検食の保存 反省
協働相手	<p>夢ポケット</p> <p>食育教育の推進(親子料理教室・栄養指導)に積極的に取り組んでおられるので、食品の安全管理や食堂のメニュー、食材の調達方法などアドバイスをいただく。</p>	
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体(組織)の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止を図るために、スタッフや利用者の危機管理意識を持って、検温とマスク着用、手指消毒、換気、密を避ける等の指導の徹底を図る。 ・食堂での就労体験は、社会へつながる大きな力になるが、若者は仲間と一緒に活動を続けることが困難な者もいる。一人一人の思いに寄り添いながら、細やかな支援を大切にしたいと思う。 ・若者達の自立に向けての調理体験の充実をいっそう図りたい。 ・栄養バランスの良いおいしい食事を安価で提供することは、安定した経済と人材確保が課題となる。 <p>2 地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、不登校の児童生徒が増加し課題解決に向けて早期対応が求められる。 ・不登校・ひきこもりの課題を社会の課題と捉え、悩める若者達や家族が決して孤立しないように、地域がつながり合うことが求められている。 ・両親が共働きの家庭が増えていく中で核家族が増え、家族のだんらんの時間もなく、経済的な貧困をはじめ、心の貧困を抱えた子供たちが増えている。 <p>〈令和4年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校・ひきこもりの居場所の拡大事業としてのこども食堂を今後も継続していく。 ・居場所を利用する若者達や心のケアとしてのワークに取り組む若者達のために、温かい昼食を毎日提供していきたい。 ・積極的な家庭訪問や個別面談等に取り組み、まだ相談にかかっていないひきこもりの人たちと関われる努力をしていきたい。 ・講演会等を通して但馬各市町にドーナツの会の取組の情報提供をし、包摂型の社会づくりを目指していきたい。 	



こども食堂



ひきこもり支援の講演会